



令和元年7月19日発行

同窓会号



教授	山口
特任教授	古田
客員教授	長崎 三ツ木
秘書	北見
D	有村 上野 岑山 松本 郎 杉本 白井
M1	浅野 足立 神野 佐倉 陳
B4	大浦 岡本 中本 藤原 松井
研究生	頼 申

平成30年3月には7人が卒業され、また4月には特任教授として古田均教授、ドクター1人、修士一回生5人、学部四回生5人、研究生1人が研究室に加わり、より活気あふれる研究室となりました。研究室のメンバーは左の表の通りです。全員で協力し、研究室として素晴らしい成果を上げられるように、一致団結して頑張ります。

## 海外活動

### 12th Japanese German Bridge Symposium

(9月4日～7日) ドイツのシムン(シムン)工科大学およびシムン(シムン)連邦軍大学で開催され、4人の学生が発表しました。  
 ・40th IABSE Symposium Nantes (9月19日～21日) フランスのナントにて開催され、森山先生と杉本が発表しました。



日独での発表

・2nd JSCE-CCES JOINT SYMPOSIUM OF CIVIL ENGINEERING (10月24日～28日) 中国の上海にて開催され、郎が発表しました。

## 研究テーマ(実施中)

### 博士

鋼製橋脚を有する高架橋の解析モデルに関する検討(上野)  
 仮橋脚部材を用いた緊急橋の高力ボルト引張接合を活用した桁連結構造に関する研究(岑山)

高力片面施工ボルトを用いた一面摩擦接合継手に関する研究(郎)  
 腐食劣化の生じた鋼桁橋の橋梁システム冗長性を考慮した合理的な補強方法に関する研究(宍倉)

高力ボルトエンドプレート接合の高強度化および簡易設計法の提案(杉本)  
 半幅員施工による既設合成桁の床版更新手法に関する研究(松本)

新手法に関する研究(松本)  
 鋼鉄床版・主桁間におけるテーパ付き高力ボルト摩擦接合継手の力学的挙動に関する研究(白井)

修士一回生  
 スタッド配置に直目した主桁とハンチ、間話モルタルを有するプレキャスト床版接合部のずれ挙動に関する研究(浅野)

曲線箱桁橋の水平補剛材省略構造に関する研究(足立)

引張荷重作用下で施工した高力ボルト摩擦接合当接合の力学的挙動に関する基礎的研究(神野)

ボルト配置間に着目した高力ボルト摩擦接合継手の支圧限界強度に関する実験的研究(佐倉)

リベット継手の高力ボルト置き換えによる補修、補強工法に関する研究(陳)

研究生  
 Study on Improvement of SFRC Pavement on Fatigue Performance of Orthotropic Steel Deck(申)

詳しくは<http://bridg.civil.eng.osaka-cu.ac.jp/poster.html>

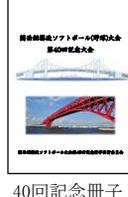
**卒業生教員の動向** 平成29年10月1日に森山先生が熊本大学大学院先端科学研究部 社会基盤環境工学部 助教に採用され、土木建築学科 構造力学研究室へ異動しました。平成30年4月1日には、松村先生が熊本大学大学院 教授に採用され、同研究室に異動しました。

**ソフトボール大会** 平成30年度関西鋼構造ソフトボール大会が本学にて開催され、主催校として準備や運営を行いました。今大会は第40回記念大会ということで、様々な大学や企業の方々に協力していただき、これまでの大会の歴史等を記録した記念史を作成しました。  
 ソフトボールの成績は、予選リーグを突破し6位という結果でした。余興の部では、他大学を圧倒して3年連続優勝を飾り豪華賞品を獲得しました。

**ゼミ旅行** 10月12日～15日に九州へフェリー泊含む3泊4日のゼミ旅行に行きました。初日は鹿児島島の志布志港へ向かい、九州での1日目は鹿児島島の道の駅「垂水湯つたり館」に立ち寄り、2日目は、石橋記念公園、仙巖園などに赴き、日ごろの疲れを癒しました。最終日には宮崎県に移り、NEXCO西日本が管理している、ロッキングピア補強現場、国富スマートインタワーの建設現場を見学しました。

**ぶら土木** 令和元年度第一回は、6月14日に、卒業生の別所さん案内の元、和歌山県恋野橋の送り出し架設を見学しました。第二回は、6月28日に上阿口橋の床版取替工事および床版下面の腐食状況を見学し、維持管理の重要性を実感させていただきました。それぞれの現場見学は普段の机の上での勉強や研究にリアリティーを加えてくれるよい機会となりました。

**就職先 (29年度)** エムエムブリッジ株式会社、株式会社HIインフラシステム、株式会社大林組、西日本高速道路株式会社 (30年度) 株式会社HIインフラシステム、JFEエンジニアリング株式会社、川田工業株式会社、高田機工株式会社、日本ファブテック株式会社、株式会社横河ブリッジ、株式会社横河NSエンジニアリング



40回記念冊子



平根大橋+桜島



第2回 上阿口橋